



循環器内科からのお知らせ

循環器内科 部長 石川 譲治

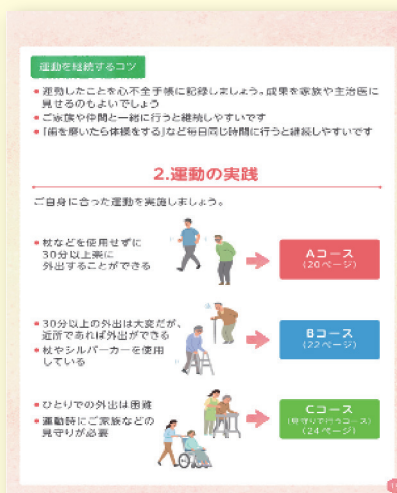
循環器内科に碓井伸一先生が心臓カテーテル検査室長として赴任しました。

2023年7月より心臓カテーテル室長として赴任しました碓井伸一と申します。当院は東京都 CCU ネットワークに参加しており、急性冠症候群の患者を積極的に受け入れており、ご高齢の患者様に対しても適応を判断し積極的にカテーテル治療(経皮的冠動脈インターベンション; PCI)を行っております。狭心症・心筋梗塞に対するカテーテル治療は有効な治療手段ではありますが、それで治療が完結するわけではありません。むしろ、治療後の再発防止のための動脈硬化のリスク管理が重要です。当院は地域の先生方との二人主治医体制を取らせていただいております。日常のリスク管理は地域の先生方をお願いし、定期的なフォローと必要であれば追加治療を当院にて担当させていただきたいと考えております。

患者様が健康に長寿を迎えることを支援することが当院の存在意義であるならば、壮年期、さらにはより若年からの治療介入を行うことが重要となります。ご高齢の患者様をご紹介いただくのはもちろんのこと、より低い年齢層の患者様もご紹介いただければ早期治療介入により健康寿命の延伸が見込めると考えております。地域の先生方におかれましては、これからもますますのご協力をいただければ幸いです。

高齢者のための心不全管理手帳を用いた患者ケアを始めました。

当院に入院された心不全の患者様は、平均年齢が約85歳と非常に高齢です。認知機能障害、フレイル、サルコペニアといった併存疾患も多く、心不全管理が難しい場合もあります。小野薬品と連携し、高齢者のための心不全管理手帳の監修を行いました。高齢者でも使いやすいようにA4版サイズも用意し、高齢認知症患者の生活の質を評価する指標(DASC-8)、フレイル、栄養状態、介護度なども記載できるようになっています。また、フレイル予防も考慮した栄養指導、高齢者のADLに対応した運動、リハビリの工夫なども紹介しています。当院に入院された患者様に手帳を使用いただき、地域の先生方との高齢心不全患者の医療連携の一層の充実を図りたいと考えています。



経カテーテル的大動脈弁留置術 (TAVI) や運動負荷心エコーを行っています。

大動脈弁狭窄症に対する経カテーテル的大動脈弁留置術 (TAVI) は、急速に普及し、本邦でも外科的置換術の年間件数を超えるに至りました。当院ハートチームでは、その患者さんに適切かつ安全な TAVI を心掛けて行っています。また、心不全の患者さんにおいては、重症そうだけれども症状のなさそうな方、重症度は中等度と思われるけれども息切れの訴えがある方など、病状評価や治療方針に悩むことが多々あると思います。当院では、このような方に対してエルゴメーター負荷心エコーを行っています。この検査では、負荷時の症状と心エコーでの病態を医師と技師がその場で評価しています。また、負荷検査ではありますが、膝が悪くてあまり歩けない方なども可能であり、その方の日常活動度に合わせた負荷量で評価しています。実際、当院では 80 歳以上の方にも安全に行っていますし、少量の負荷でもわかってくることは多くあります。

若い方からご高齢の方まで、もし息切れなどの症状が悩ましい方、症状がはっきりしないけれども心疾患が疑わしい方などいらっしゃいましたら、当院弁膜症外来(担当 二見医師)まで御紹介ください。その方の病状を評価し、背景なども踏まえた上、適切な時期に最適な治療を得られるよう診療させていただきます。



ハートチーム

心房細動に対するカテーテルアブレーションを行っています。

心房細動は、近年の人口の高齢化に伴いその患者数は増加傾向にあります。放置すると心不全や脳卒中のリスクが高まるだけでなく、認知機能障害の進行やフレイルの危険も高まることが知られています。従来の薬物療法では、動悸や息切れ、めまいといった症状のコントロールに難渋する場合も多く、副作用の問題も無視できません。このような中、カテーテルアブレーションは、根治的治療法として注目されています。

カテーテルアブレーションは、高周波エネルギーを用いて心房内の異常電気信号を生成する部位を焼灼し、心房細動を抑制する治療法です。近年の治療技術の進歩はめざましく、その安全性と成功率が飛躍的に向上し、適切な患者に対しては高い有効性が報告されています。特に、薬物療法の効果が十分得られず、心房細動による自覚症状が強い症例に対して有効です。当院では、安全性と成功率に配慮した設備を用いて専門医によるカテーテルアブレーションを提供しております。治療後の生活の質の向上が期待でき、心房細動でお悩みの患者様には是非ご検討いただきたいと考えております。患者様への説明や治療方針の相談など、ご不明な点がございましたら、不整脈外来(担当 石山医師)にご相談ください。

● 循環器内科への紹介方法

お電話にてご予約、ご相談ください。

〈外来予約〉予約センター

☎03-3964-4890 (平日9時～17時)

〈入院・転院のご相談〉医療連携係

☎03-3579-6963 (平日9時～17時)

第169回老年学・老年医学公開講座

アルツハイマー病の新しい治療薬『レカネマブ』とは？

—認知症と共に暮らす共生社会の実現—

申込不要・入場無料 定員1,800人 手話通訳あり

会場 文京シビックセンター1階 文京シビックホール 大ホール

令和6年

7月25日(木) 12:45～16:00 (開場12:15)

主催:



地方独立行政法人

東京都健康長寿医療センター
TEL: 03-3964-1141(内線1240)

詳細はこちら▶



各種問い合わせ



● 医療連携係(直通) ☎03-3579-6963 (平日9:00～17:00)

● 予約センター ☎03-3964-4890 (平日9:00～17:00)

● 緊急受診・緊急入院のご相談 ☎03-3964-1141

※「緊急受診(入院)の依頼です。〇〇科の連携当番医につないでください」とお話しください。

● 脳卒中科ホットライン ☎080-4116-1141

※脳卒中の発症が疑われる場合にご活用下さい。

リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。